

# 創立80周年記念式典開催



東京都立豊島高等学校 創立80周年記念式典



昨年10月26日、練馬文化センターにて学校80周年記念式典が開催されました。  
写真は祝辞を述べる鈴木優子同窓会長。(詳しくはP3へ)

## Contents

校長・会長挨拶	P 2
創立80周年記念式典・祝賀会	3
斉木幸彦さん(高校8回)「柔道部の創設」、尾崎三重さん(高校2回)「テニスと共に」	4
高橋 眞さん(高校19回)「柔道部の思い出」、豊籠会だより	5
小林恵悟さん(高校18回)私の趣味「ハーモニカ」	6
古市啓子さん(高校2回)「書」と私、教職員異動、進学状況	7
同期会だより	8~9
柏豊会からのお知らせ	10
会計・総会報告公示及び役員一覧	11
山口千鶴子さん(高校3回、母校元教諭)「至誠」	12

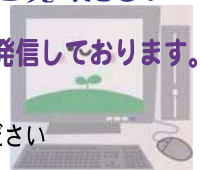
## 同窓会 年に一度 6月4日(日) 総会・親睦会

- 第2回総会を開催します(詳しくは11ページ)
- ☆2017年(平成29年)6月4日(日)
- 総会11時・親睦会13時より 豊島高校にて
- ☆同封のハガキにて出欠をお知らせ下さい(親睦会は当日受付可)
- ☆親睦会にはおいしい料理と豪華景品が当たる抽選会有!
- ☆親睦会参加費2,000円  
但し卒業4年以内(2014年3月卒業以降)の会員は無料!

ホームページもご覧ください

柏豊会の最新情報を発信しております。  
ぜひアクセスを!

下記アドレスを入力ください



<http://www.hakuhou.biz>

お問い合わせはmember@hakuhou.biz



### 学校の近況から



豊島高校校長 林 眞司

柏豊会の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より本校の教育にご理解と多大なるご支援を賜り、感謝申し上げます。有難うございます。

さて、10月26日には創立80周年記念式典を無事終了することができ、鈴木同窓会長をはじめ同窓会の方々には大変お世話になりました。お礼申し上げます。また、当日はたくさんのお参りにご参加いただき、第1部の式典では生徒会長の言葉、第2部ではマジック部と吹奏楽部の生徒が活躍し、ご来賓の方々からお褒めの言葉をいただきました。

今年度は2020年東京オリンピックを控え、高校でもオリリンピック・パラリンピック教育が始まりました。そこで、本校にとっても節目の年でもあり、久しぶりに「至誠の盾」を体育祭の本部に飾りました。「至誠の盾」は1940年(昭和15年)に皇紀二千六百年を記念して作られた体育大会のための盾です。昭和15年は戦時情勢の悪化によって返上・中止された幻の東京オリンピックが計画された年でもありました。体育祭の開会式ではそのことに触れ、現在は平和の祭典といわれるオリリンピックも国威発揚の場として使われてきたことなどを話しました。豊島でしかできないオリリンピック教育ができたと思います。

今年度は理数研究校の指定を受けて、科学部が地球探査船「ちぎゅう」や筑波の研究施設を見学したり、研究成果発表会を行ったりしました。部活動では吹奏楽部がA組B I組の両組で金賞を受賞し、A組はその後の都大会にも出場し、銀賞を受賞しました。また、日本管楽合奏コンテス



### 百花の魁



柏豊会会長 鈴木(豊田)優子 (高校14回)

同窓会の皆様には、まずまずお元気で多方面にご活躍の事とお慶び申し上げます。今年も3月12日めでたく69回生274名が卒業されました。

卒業式は和やかな中、厳粛に行われ希望に輝く生徒達の姿に胸が熱くなると共に充実した式でした。先生方の並々ならぬ熱意とご努力で今年も国立、有名校へ高い合格率の実績が得られ、心より感謝申しあげます。又、昨年は母校創立80周年記念の式典が10月26日厳粛に盛大に催されました。(詳しくは3頁をご覧ください)

今年度は東日本大震災から6年の月日が経ち被災の皆様は様々な困難を乗り越え今日を迎えています。

今年度は東日本大震災から6年の月日が経ち被災の皆様は様々な困難を乗り越え今日を迎えています。



# 学校創立八十周年 記念式典・祝賀会

昨年10月26日(水)、豊島高校創立80周年記念式典・祝賀会が挙行されました。

## 【記念式典】

今回、記念式典の会場となったのは、練馬文化センター「こぶしホール」で、都議会議員や歴代校長など多数の来賓や同窓会会員、先生方や在校生も同席し、大勢の方が列席する中、厳粛に開催されました。

式辞で現校長の林眞司先生は、初代校長の野間忠雄先生の教育方針であった「落ち着いた品のよい子、実行力に富んだ子、熟慮ある子を作り出し」ということに触れられ、また当時「清整作業」が行われ、今日でも特清という名前で清整の豊島の礎が築かれていったという伝統が脈々と受け継がれていることを話されました。



鈴木会長

その後、戦争を経て新制高校となり、今でも続く生徒会誌「田園」の発行、20周年記念として図書館の建立、豊島文庫の創設、40周年記念行事としてスタートした歩こう会と発展を続ける豊島において、今後はさらに生徒一人一人の主体性を育て、自らが課題意識をもって学んでいく教育を展開していきたいと述べられました。



同窓会長祝辞では、高校14回(S37年卒)の鈴木優子会長が、入学当初を振り返り、校舎は木造2階建てでまわりにはまだ畑ばかりが目立ち、近くに千川が流れ校歌の通り桜並木が続いていたという風景の話から始まり初代校長野間先生の教育方針の一つである「掃除の豊島」との下、隣りのクラスにこれだけは負けない!!とばかりに、廊下や窓ガラスをピカピカに磨いたという話や当時軽井沢にあった寮での夏合宿の思い出話などに触れられました。そして今、中高一貫校や統廃合が進む変化の中、今日までの母校の伝統である「至誠」と「文武両道」の精神を大切にこれからも増々の発展を望みますと締めくくりました。

こうして第一部は幕を閉じました。第2部では、アトラクションとしてまず柏豊会親睦会でもお馴染みになりつつあるマジック部のマジックが披露され、続いて吹奏楽部の50分間のステージ演奏が披露されました。豊島高校80歳のお祝いにふさわしい曲、そして高校生、来賓の方々、保護者、同窓会などの様々な年齢層の皆様喜んで頂けるプログラムになるよう選曲したとのこと、「デイズニー・プリンセス・メドレー」など7曲が演奏され、来場者からは大好評を博しました。(上段写真参照) 厳粛の中にも華やかに開催された記念式典は無事幕を閉じました。

## 【祝賀会】

その後の祝賀会は、会場を大塚のホテルベルクラシック東京に移し、開催されました。和やかな雰囲気の中、開会の辞に始まり、学校長、実行委員長、同窓会長の挨拶と続き、来賓祝辞では前校長で現在は都立一橋高校校長の小宮山英明先生、並びに元副校長で現在は都立美原高校校長の鶴田秀樹先生がご挨拶されました。乾杯では、前PTA会長で現在は東京都立高等専門学校PTA連合会会長である池本義信さんが音頭を取りました。

なかなか現役の先生方やPTAの方々、そして同窓会会員が一堂に会す機会もないこともあり、そして今回は、会場がホテルということだったので、お酒を片手にどちらのテーブルも話の花が咲いていました。なお、歓談の時間には、池本前PTA会長が作成されたという母校の現在の模様が収められたDVDが披露され、今の母校の様子をうかがい

知ることが出来ました。そして、待ちに待ったアトラクションは、高校35回(S58年卒)のフラメンコギター奏者の若林雅人さんによる演奏が披露され、皆さんお酒を片手に演奏に酔いしれておりました。なお、若林さんは、平成27年発行の同窓会報(No.60)に紹介されておりますので、ぜひご覧ください。和やかな祝賀会もあつという間にお開きの時間が訪れ、締めは定時制の同窓会「清明」の会長である中村陽一さんによる三本締め、閉会の辞を持って、創立80周年記念行事は無事に幕を閉じました。

開催にあたり、学校・PTA・柏豊会が中心となった「80周年記念式典準備委員会」が組織され、9回にもわたる綿密な会合によって、このような素晴らしい式典が無事成功を収めたことをご報告致します。



フラメンコギターを演奏する若林雅人さん

# 部活動紹介

(OB・OGの話題)

## 柔道部の創設

齊木 幸彦 (高校8回・S31年卒)



豊島高校の柔道部の始まりは、戦前の府立第十高女時代に盛んに行われていた。

いた。薙刀道場を改装して作ったそうです。薙刀道場は体育館の横に有り、戦後はほとんど使われなくなり廃屋になりかけていたそうです。5回生の男子の有志が集まり、各自が自宅から大工道具等を持参して、廃屋になりかけていた薙刀道場を一生懸命に改修したそうです。その中心になって活動していたのが、ミュージカル俳優である宝田明さんだと聞いています。その後、宝田先輩達は、進藤未治先生(故人)にお願いして、改修された柔道場で柔道を習い始めました。これが我が柔道部の始まりです。

私は、新潟から2年生の時、転校してきて早速柔道部に入りました。進藤先生のご指導により、出来たばかりの柔道部とは思えないほど筋のよい柔道をしていました。しかし都の大会等では、上位に入賞するところまでは、なかなかいきませんでした。学校の男子の人数が、そもそも少ないことも、原因の一つだったと思います。

高校卒業後は、私も現役の高校生に混じって稽古で汗を流す場面もありました。私が卒業して数年経った頃に、進藤先生がご栄転で豊島高校を去るときに、OB会を作って、長く在校生と卒業生が交流を続けてゆくことが良いと、アドバイスを頂きました。そこで、当時稽古に参加していた、卒業生と数回の話し合いを持ちました。その結果、OB会の名称を豊柔会にし、部員同士の親睦と在校生の支援を目標に会を設立し、初代会長に私になりました。年一回の親睦会には、進藤先生はじめ多くの卒業生が集まり、各自の近況を話したりして大いに盛り上がりました。進藤先生の後任は和村公男先生(故人)が柔道部の指導を引き継ぎました。豊柔会の会長も二代目三石昌美君(12回卒)になり、合宿の差し入れを行ったり、稽古に参加して柔道部を盛り上げる活動を行いました。その後は、仕事が忙しくなり高校を訪問する機会が少なくなりました。進藤先生の思いを豊柔会という形にして、私なりに部員同士の親睦を図れたことが最大の喜びです。



旧道場前にて

# テニスと共に

尾崎 三重 (高校2回・S25年卒)



豊島高校創立80周年おめでとうございます。私が入学した時、原っぱだった校庭に、当時国語の担任だった坪井先生のご尽力で、三面のテニスコートが出来上がり、軟式庭球部が発足しました。

そこから、私のテニス人生が始まりました。当初、大学受験を目指しておりましたが、練習の成果が上がり、尾崎・原組(豊島高校)として国体に出場したところ、勝運に恵まれ東京代表となり大学どころではなくなりました。その後国体では入賞し、東日本選手権第2位、東京選手権優勝という成績をあげ、卒業の時にも全日本高校ランク9位の免状を頂きました。

その後、企業(新日本製鉄)に就職し、私は後衛だったので、豊島の一年後輩の前衛、原さんの入社を待って再度ペアを組みました。企業では、午前は仕事・午後は練習という生活を10年過ごしました。その間、成績をあげるため、随分、頑張りました。最後は、日本ランキング6位の記録を残しました。現在は、膝を悪くしてテニスはしておりませんが、当時の仲間が今でもシニアの大会で活躍しているようです。テニスは、年齢を重ねてもできるスポーツですから、ぜひ若い方

にもお勧めしたいとおもいます。豊島高校では、ソフトテニス部の部員がゼロになったと聞いてびっくりしましたが、その後無事に再出発したようで、胸をなでおろしております。現在は、鎌田先生を顧問にOBの小泉恭昭さん(高校13回)がコーチのもと、現役とOB・OGとの絆も深まっているようですが、今後、ますますの発展をお祈りいたします。



どちらも左が尾崎さん

## 吹奏楽部

## 都大会

## 銀賞受賞!!

現役生の部活動の話題では、吹奏楽部が大活躍し、昨年9月11日に府中の森芸術劇場にて開催された東京都吹奏楽コンクール(都大会)にて、過去最高となる銀賞を受賞しました。写真は吹奏楽部後援会HPより



http://toshimawo.jindo.com



# 柔道部の思い出

高橋 眞 (第19回・S42年卒)



私が、豊島高校に入学したのは、昭和39年4月この年は、日本で初めて東京でオリンピックが開催され、嘉納治五郎先生悲願の柔道が初めて実施されました。当時の競技は男子のみで体重別の階級は軽量級・中量級・重量級・無差別級の4階級で行われました。私も、テレビの前で日本選手の活躍を応援していました。

顧問の和村公男先生(故人)との出会いは、初めての体育の授業が終わった後、柔道部に入らないかと声をかけてもらいました。まだ、どの部活に入るか自分の気持ちが固まっていなかったのですが、先生の一言で背中を押され迷いが無くなり入部する事に決めました。入学当時の柔道場は、平屋木造で50畳位だったと記憶



30周年記念生徒ホール内



旧道場内

していません。道場の内側は板張りだったので、一人で板張り相手に打ち込み稽古を行うと、時々板が破れるので、それを楽しみにより一層稽古に励んでいました。休みの日には豊柔会(OB会)が開催され、多くの卒業生が道場に現れ、稽古をつけてくれました。私は、高校に入ってから柔道を始め、高校のうちに投げられることが多く、空中にいる時間の方が多かった事が思い出されます。先輩達と稽古することで、少しずつ技も磨かれ強くなっていく実感を持ちました。

2年次には、新しく30周年記念生徒ホールが出来、その中に真新しい140畳位の畳が敷かれました。新しい道場での夏の合宿は、当時バックネット裏にあった同窓会館で1・2年の部員が参加しました。食事は近くの食堂から運んでもらい部員全員で配膳をしモリモリ食べて、暑さに負けずに元気に稽古に励んでいた事が楽しい思い出です。

高校卒業後は、和村先生の影響もあり体育大学の武道科に進学し、コーチとしても柔道部の稽古に参加し、在校生と一緒に汗を流した事が懐かしく思い出されます。

大学卒業後は、北区の中学校に体

育教諭として赴任しました。そこで、区内の別の中学校の校長先生をして、進藤未治先生(故人)と出会いました。進藤先生は和村先生の前任者で、私自身も豊柔会で顔を合わせていたので不思議な運命の出会いを感じました。その後は、和村・進藤両先生には公私共にお世話になり充実した日々が過ごせました。豊島高校柔道部に在籍していた事を誇りに思っています。【6月4日に豊柔会開催！詳しくはp6へ】

## 豊籠会だより (バスケットボール部OB会)

会長 大野克之

恒例の豊籠会総会・親睦会を2月25日(土)に昨年と同じ、池袋のYRイベントホールで開催しました。豊島高校でも屈指の歴史のある豊籠会ですが、年々、出席者が少なくなる傾向です。昨年は少し持ち直したのですが、今年も増えることを期待したのですが、残念ながらOB14名・OG3名の計17名の出席となりました。ただ、総会・親睦会には出席出来なくとも、豊籠会年会費や寄付・援助費を納めて頂いている方は34年前より十数名増えています。(因みに年会費はその年度のみで遡って納入する必要はありません) 総会では平成28年度収支報告・平成29年度予算案、そして、豊籠会会則の改定を決議しました。

会則の見直しは豊籠会の目的「会員の親睦、現役部員との結び付きと物心両面への援助」を図るため、学校・個人・個人の価値観等が大きく変化する中、会の存続に必然的なくとで大きな意味がある改定となりました。

した。

今まで豊籠会はバスケット部OB会でしたが、平成30年1月1日からはOB・OG会となり、OGが賛助会員から正会員となり、共に豊籠会の運営に携わって頂くことが出来ることになりました。是非、ご協力をお願いいたします。

親睦会は「学校創立80周年記念誌」や「校舎改築完成予想図」などを閲覧しながら、また、会員の近況報告(返信はがき・メール)を心配しながら、高校時代のバスケット部の話題をお酒の肴としてひとときを過ごしました。先輩・後輩と年令に差はあるのですが、お互いの状況に何らかの共通点を見出して話が繋がっていくのがいつもながら不思議です。

来年は校舎改築工事が始まる予定です。そこで、豊籠会総会は学校で開催したいと考えております。私が卒業した45年前頃からこんにちの校舎に懐かしさを感じられる方は最後の機会かもしれません。また、私より先輩の方もいよいよ創立以来の図書館の建物が無くなります。ケヤキの大木も見納めとなりそうです。

親睦会はお酒などの提供が校内で出来ないで近隣の開催となるでしょうが、歴代の顧問の先生にもご案内します。そして、今までご案内してなかったOGの方にもご案内いたします。連絡が途絶えている方(案内状の返信はがき未着等)は、案内が行かない場合がありますのでご注意ください。

来年こそ多くの方に出席頂いて、高校生時代の話で盛り上がる時間を共有出来ることを心待ちにしております。

【問合せ先 大野 080-4677-0071】

### 私の趣味「ハーモニカ」



小林 恵悟(高校18回・S41年卒)  
 私がハーモニカを最初に手にしたのは幼少期のころでした。父が吹いていたので、何となく興味を持ち、八長調の複音ハーモニカを一本買って貰いました。父に教わったというのではなく、いつの間にか見様見真似で童謡や唱歌をブカブカやっていたようです。テクニクなどは無かったです。ただメロディだけを単調に吹いていました。そのうちに父は手にしなくなり、私も思い出した時にたまに吹いていました。60歳の定年になる3年ほど前に、ある日の新聞の一面全てを使ってハーモニカのCD全集の広告が載っていました。恥ずかしながらその時に初めてハーモニカしなプロの演奏者があることを知りました。すぐにこの10巻セットを取り寄せました。ここで使用されているのは複音ハーモニカですが、プロの演奏は素晴らしく、あんなに小さな楽器が、こんなに奥深く幅広い音色を出すということが初めて知り感動しました。それからほぼ毎日聴くうち、自分もマネしてみようと思いつき、同じ高さのキーで吹けるよう練習してみました。が、どうしても八長調

一本ではマネできないことを知りました。収録されている曲はいろいろな調で演奏され、それに合わせたハーモニカを使用しているからでした。その事に気づいた私はマネするのに必要なハーモニカを1本ずつ増やしていきましました。その後2年ほどして収録されている約200曲を何とかマネして吹けるようになりました(レベルは全く違いますが)。そうこうしているうちに、どの曲にはどのような演奏テクニクを使っているかに気づくようになり、これも見様見真似で少しずつ似せることができようになります。余談になりますが、ハーモニカの中で一番簡単なのがハーモニカだそうなんです。私もそう思います。基本的には歌える曲は楽譜など無くても吹くことができます。ですから楽譜は読めないが、これから始めようかという人にはぴったりの楽器です。ドレミファソラシドの音が吹けるようになったら誰でもすぐに20、30曲は演奏できます。楽譜の読めない私が言うのですから間違いないありません。複音ハーモニカがある程度扱えるようになった時に、他にもテンホールズハーモニカやクォーターティックハーモニカというのがあることを知りました。テンホールズハーモニカはまさに10個しか穴のないハーモニカです。(因みに複音は21、26穴が一般的)ところが吹き方(吸い方)によって3オクターブ演奏ができ、ジャズ、ブルースや他の楽器とのセッションに向くのです。更にクォーターティックにも興味を持ち、このハーモニカは片面をスライドさせて半音を出すものでクラシックなどによく使われます。今やこの3種類のハーモニカを曲によつ

て使い分け、楽しんでおります。題名を聞いてすぐ演奏できる曲は千曲程度ですが、もちろん楽譜など見ず「さぐり吹き」です。所詮私はアマチュアですが、それなりに楽しめればいいと思っております。最近、アマチュア演奏のほうアマチュアの人には喜ばれる場合があることに気が付きました。わかり易い曲をわかり易い演奏で聴いて貰うからかも知れません。実は先日ある事情でチャリティコンサートを開きました。私ともう一人ゲストにプロの演奏家をお呼びして開きましたが、150名ほどの方がお見えになりました。後日、来場された何人かの人に感想を聞いてみると、勿論プロの先生の音色は素晴らしく、テクニクもさすが、がと思わせるものがありません。小林さんのハーモニカも良かったが、

豊島高等学校も創立80年が経ち、私達が学んでいた校舎も替わり、図書館だけが当時の面影を残しています。私も卒業50年が過ぎ、楽しかった高校生活を振り返った時、一番熱心に取り組んでいた柔道が思い出されます。柔道部には豊柔会というOBの組織がありました。先輩達も稽古に参加してくれ活発に活動が続けられ、私も卒業後には在校生と稽古した事が思い出されます。

私の資料では、昭和55年の豊柔会が最後で、多くの卒業生が参加していました。それから早いもので30数年が経ちました。その間に多くの柔道仲間が汗を流して稽古した道場も建て替わり、残念な事に現在は柔道部の活動が無いということです。

そこで、柏豊会を借りて豊柔会を開き、進藤末治・和村公男両先生の思い出話と、OB・OGの親睦会について初代会長の斉木さんとも相談し、今回の開催となりました。柔道部のみなさん柏豊会の会場で会える事を楽しみにしています。


豊柔会呼び掛け人・斉木幸彦(8回) 三石昌美(12回)  
 高橋 眞(19回) 赤羽俊一(29回)

#### 豊柔会(柔道部OB・OGの会)

進藤末治・和村公男両先生の思い出と柔道部員の親睦会  
 日 時 平成29年6月4日 日曜日 午後1時~3時  
 場 所 豊島高等学校  
 会 費 2000円(親睦会参加費)

心に響くという意味では遜色なかったよ、などとおだてられ、気を良くしている軽薄男です(笑)。  
 趣味のことになると話が止まらないと世間ではよく言いますが、私も例外ではないのかも知れません。つまらない話を最後までお読みいただき誠にありがとうございました。

**柏豊会の名付け親が判明!**  
 昨年の会報の編集後記に『昭和35年柏豊会と会名決まる』とありましたが、名付け親は高校6回生の堀野(室田)美沙子さんだったという情報を頂きました。校章の柏の葉をとり豊島と組み合わせさせて作ったそうです。





「書」と私

古市(島田) 啓子  
(高校2回・S25年卒)



学校を出て公立中学校教員になつた。昭和30年代は55人クラスで8クラスが1学年である。3年生を担任すると卒業証書を書くのである。外注する時代ではなかった。学年主任から学級担任は自分で書けとの事でびっくりしたが鷹見流で修得した筆を頼りに乗り越えはした。恥かしいものだった。

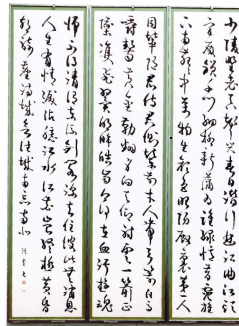
これを機に証状書士の通信講座を受け後に備えたのである。そして退職後、よい師匠に出会い遅い手習いを始めたが年令が上ると、感性が鈍るので上達が遅いと聞かされていた。師匠の池上翠漣(すいれん)氏は書海社創設者、故松本芳翠(ほうすい)氏の子弟で万能な師である。私は五年間の基礎を学び書海社展に出品し、読書法展にも参加し多くの時を墨に向き合つた。しかしこの間二十余年、両親や夫の介護と重なって殆んど深夜の作業であった。

高校時代の教育か、同級生に書家や達筆者が多く、私の作品にも関心をもち下さるので作品の釈文や解説を添えるようになった。漢字の作品だが草書は読みにくいのである。

先ず唐詩集を求め撰文にするのが選び方が悪いと八割方は賞は逃す。特に二八(にはち)紙(二尺×八尺)三枚の大作となると大仕事。150×240字を見栄よく割付ける。一語ずつ字典で文字を選ぶ。並べて見て、同じ字があれば字体を変える。師匠に下見をしてみれば手本はない。全く自力の自作で鍛えられた。でも終わってみれば達成感で気分上々である。

しかし皮肉にも、時間を得た現在、体力や体調が思うように叶わず、今は小品で師範展や同人展で長く楽しむつもりでいる。

これも第十高女、豊島高校の御蔭である。



**教職員の異動(順不同・敬称略)**  
 着任▼神林玉青(国語) 一橋高から  
 ▼浅井健伍(国語) 淵江高から▼澤木考耶(社会) 江北高から▼濱島裕輝(理科) 新規採用▼阿部真理子(理科) 大江戸高から▼沖野弘尚(保体) 墨田川高から▼清水知子(英語) 九段中等教育学校から  
 転任▼荒木敦史(国語) 練馬高へ▼石鍋雄大(国語) 大泉中高へ▼戸谷明子(理科) 立川国際中等教育学校へ▼島藤国夫(理科) 赤羽商業高へ▼西村昌弘(保体) 狛江高へ▼小坂元(英語) 立川高へ(社会)  
 退職▼原裕子(社会) 《着任は4月1日付、転任・退職3月31日付です》

**千早会Ⅲ**  
(高女9回、高校2回)

今年から5月第3水曜日となりました。なんと52年間も続いている「千早会」です。今年も大勢の懐かしいお顔に会えますようにと願っています。

①日時 毎年5月第3水曜日(今年は5月17日)  
午後1時30分から

②場所 池袋ホテルメトロポリタン  
2階「花むさし」

③「お知らせ」は発送しません。誘いあってお出かけ下さい。

**卒業生進路状況**  
(豊島高校調べ)

●進路別人数 (2017年3月卒業(高校69回生)274名)

		男	女	計	
四年制大学	指定校推薦	3	7	10	201名 (73.4%)
	公募・AO	4	18	22	
	一般入試	79	90	169	
短期大学	指定校推薦	0	0	0	5名 (1.8%)
	公募・AO	1	2	3	
専門学校	指定校推薦	0	2	2	22名 (8.0%)
	公募・AO	3	8	11	
就職	就職	1	1	2	44名
	公務員	0	0	0	
その他	進学準備	34	10	44	16.8%
	その他	0	0	0	
		130	144	274	

●進路決定率(浪人等を含みません): 83.9%

●最近5年の進路状況推移

卒業年月	卒業生数	大学	短大	専門	就職	その他
2013年3月	277	190	13	34	3	37
2014年3月	238	171	6	39	4	18
2015年3月	278	223	5	22	0	28
2016年3月	275	189	13	29	5	39
2017年3月	274	201	5	22	2	44

**卒業19回(昭和42年卒)**  
**卒業50周年記念同窓会**

全国の同期生へ、今すぐカレンダーに印を付けましょう。仲間との再会を夢見て池袋で待っています。

日時 平成29年10月14日(土)  
午後1時30分～

場所 グレースバリ池袋(池袋西口)  
詳細は後日郵送します。

(幹事 高橋 眞)

### 同期会だより

#### 高校10回(S33年卒) 同期会

平成29年3月1日

於・池袋東武バンケットホール

昭和33年の卒業から59年、みんなが77歳の喜寿を迎える3月に2年ぶりの同期会を新装なった池袋東武バンケットホールにて開催しました。同期会に合わせて遠くはフランスから帰国されたK・Sさん、中国の深圳(シンセン)から参加のT・Iさんを含め男性13人、女性18人の計31人の出席で前回の41人、前々回の68人に比べ大幅な減少でした。

少人数の事でもあり、いつもの形式ばった進行は省き、司会があいさつした後、亡き恩師、友人に黙とうを捧げ、続いて毎年海外の「第九の合唱」に参加のH・Tさんの指揮で校歌斉唱、歌詞のプリントは配ったもののほとんどの皆さんが三唱節まで懐かしく歌いあげ、経過報告・乾杯の後は一気に学生時代に逆戻り、顔は判つても旧姓がなかなか出て来ないもどかしさが見られましたが、予定の時間をオーバーするほどの盛り上がりでした。

#### 高校14回(S37年卒)(豊島十四会)

平成28年10月16日

於・池袋東明飯店

皆さんお変わりありませんか。2016年はリオネジャネイロオンリ

ンピックの年であり、当校の創立80周年記念の年でありました。4年に一度の豊島十四会同期会はこの記念すべき年に、通算10回目の開催を迎えました。

平成28年10月16日(日) 地元池袋の会場にて、約50名の参加を得て開催しました。

今回は70歳の大会を過ぎて、人生の第四コーナーを抜け最後の鞭を入れる直前の想いを大いに語りつくそうと、一次会・二次会を移動するごとなくじっくりと会話を楽しみ、旧交を温める時間を大切にとの趣旨で開催しました。

なかには卒業以来初めての参加という懐かしい顔(実際にはどこの誰かさっぱり思い出せない)、親の介護が終わりやつと参加できた顔、なかなか嫁の来てない息子への不満等話題はつきません。

お互いテーブルを行ったり来たりと立食パーティーしながらの盛り上がりで定番の校歌合唱でお開きとなりました。そのあとの三次会・四次会は居酒屋・カラオケ等で各自楽しまれたことでしょう。

今後の十四会の活動予定としては、会員の方より「今までもおひの活動を続けてほしい」との要望が多く、幹事の皆さんの意見を取りまとめ結果をお知らせしたいと思えます。どうか会員の皆様には、

次回の同期会ま



でお体を大切に、沢山の方とお会いできることを願っています。

【豊島十四会幹事一同】

#### 高校16回卒業(S39年卒) 同期会

平成28年11月5日

於・池袋東武バンケットホール

古稀を過ぎた同期48名が、ドイツ・山形・松坂・白山の遠方者を含め池袋に集いました。

いまだ現役で教育・伝統工芸・舞台演出・事務・看護師等をやっている人。趣味の世界で写真・音楽・ダンスなどに活躍している人。卒業以来初めて参加された方もおりました。皆さん久しぶりなのに、楽しく賑やかにそして学生時代のように生き生きとしていました。

共通の話題は介護と孫育てでしたが、様々な考えがあるものですね。一人で悩むより、話すことにより多くの情報を得る事の大切さ感じました。

話はつきず、二次会「土間土間」、三次会「おもろ」と繰り出した方が多数。まだまだ元気ですよね！尚、来年からは毎年十一月第一土曜日に「懇親会」を開く事になりました。

今回は平成29年11月4日(土) 15時30分池袋西口「えん」。

今回出席出来なかつた方も是非ご参加下さい。



【三九会世話役 小川寛美】

#### 高校17回生(S40年卒) 古希記念同期会

平成28年10月19日

於・目白 椿山荘(コスモスの間)

好天に恵まれた秋の一日、高校第17回生古希記念同期会が開催されました。

今回は特に古希記念ということで会場も会費もグレードアップ、緑豊かな美しい庭園に囲まれた目白の椿山荘に総勢83名が集まりました。

会場入り口では、「ワー久しぶり」と歓声が上がりが皆さんとても古希とは思えぬほど若々しく、開会前から華やいだ空気に包まれました。開会のあいさつに続いて同期432名のうち、亡くなられた25名のお名前が読み上げられ参加者一同その面影を追いつつ一分間の黙とうをささげました。

クラスごとのテーブルには卒業アルバムや名簿のコピーが置かれ、入学当時の懐かしい写真を前に思い出話に花が咲くなか、司会者のユーモア溢れる進行により、遠く新潟や香川からの参加者の近況報告、会場いっぱい清々しい空気に包まれた美しい独唱、ゴルフ、テニスなどのサークル紹介がありクラスの枠を超えて和やかにいくつもの歓談の輪が出来ました。すでに仕事を離れ趣味にボランティアにという方が多い中、現役で活躍されている女性は何人もおられたのは素晴らしいことでした。

一次会から二次会へと続き、各クラスの幹事が紹介され、みんな感謝の拍手を送り、最後に司会者より今後の会のあり方について「まずはいろいろ行われている小さな会に参加するところから始めましょう」という呼びかけがあり、恒例の校歌斉唱、記念撮影と続き閉会となりました。



た。が、皆さん去りがたくそのま  
 地下の喫茶室で三次会、会場を出  
 る。この辺りは薄暗くなつていま  
 り。当初これが最後の同期会にな  
 る。参加者の笑顔がなにより再会を望  
 んでいるように思われました。旧友と  
 の語り合いに元気をもらいました。次  
 の機会にかけようと思いつつ家路につ  
 きました。昭和21年から22年に生ま  
 れた「昭和70年」はそのまま「戦後  
 70年」と重なります。今回の同期会  
 に参加しこのことを強く感じました。  
 窓の中が平和だから私たちが、同  
 窓会や同期会に集うことが出来る。大  
 本当の宝田明さんなどご自身の体験に  
 基づき平和の尊さを各地で話されて  
 います。これからは平和な世の中が  
 続きます。これからも願わずにはいら  
 れません。幹事の皆様お疲れ様でした。楽



い一日をありがとうございました。  
 【阿比留(武井)公子記】

高校36回(S59年卒)同期会

平成28年6月18日  
 於・池袋東口アカデミーホール

1984年卒同窓会を4年ぶりに  
 開催いたしました。当日は147人の同窓生と9名の  
 先生が参加してくださいました。  
 大塚朝治先生、和田強先生、木下  
 時男先生、山口千鶴子先生、中西克  
 弘先生、鈴木裕太先生、居駒永美先  
 生、黒山韶先生、葦名次夫先生。す  
 べての先生からご挨拶をいただきこ  
 とができました。  
 居駒先生のオカリナ演奏に合わせ  
 て全員で歌った「ふるさと」は壮快  
 でした。

当時高校生だった私たちも十分過  
 ぎるほど大人になりましたが、どれ  
 だけ時が流れても先生  
 方は私たちが  
 の先生たちま  
 までした。ま  
 ま愛情に満  
 ちた素晴ら  
 しいメッセ  
 ージに耳を  
 傾けながら、  
 懐かしさや  
 せなひとと  
 きを過ごす  
 ことができ  
 ました。次  
 回の開催予  
 定の4年後  
 にも、先生  
 と再会でき  
 ることを心



から願っております。  
 最後になりますが、開催にあたり  
 柏豊会の事務局の皆さまに大変お世  
 話になりました。この場を借りてお  
 礼申し上げます。  
 【幹事一同】

高校38回(S61年卒)同期会

平成29年3月4日  
 於・TOKYO SHARE DINING 1K

卒業後30年で初めて、学年全体の  
 同期会を開きました。30年ぶりだ  
 というのに、集まったのはなんと、同  
 期の3割を超える125名という奇  
 跡！ 恩師も二人来てくださり、大  
 盛況となりました。

吉澤先生、鈴木先生によるシャン  
 パンタワーのグラスが派手に割れる  
 ハプニングで幕を開けました。お  
 かげで場が和み会場全体が一気に30  
 年前にタイムスリップ、食事もそつ  
 ちのけ、そこらじゅうで昔話の花が  
 咲きまわりました。  
 先生のお言葉をいただき、50歳を  
 前にしてこの世を去つていく同期た  
 ちに黙祷を捧げ、代表者スピーチを  
 経て、最後は校歌を流し、あつちを  
 う間に時間が過ぎてしまつてついで  
 次会は終了。その後も宴は朝まで続  
 きました。  
 そして、これだけ集まった奇跡を  
 一度では終わらせないよう、しよ  
 と、勢いで来年の開催も決定！しよ  
 さらには人数を集めて二度めの奇跡  
 を狙います。  
 本当に、夢のようなひとときでし  
 ました。お力添えくださった方々、来て  
 くれた同期に心から感謝します。  
 【幹事代表 須藤渉二】

\*\*\*\*\*  
**卒業18回(昭和41年卒)**  
**・古希祝い同期会を開催!**  
 2018年4月19日(木)  
 時間・場所の詳細は未定です  
 2018年1月に往復ハガキでご案内をいた  
 します。  
 まずは予定に入れてください。  
 【幹事：森 淳(2組)  
 大平(樋口)正子(9組)】  
 \*\*\*\*\*



# 柏豊会からのお知らせ

## 振替用紙

### 同窓会費につきまして

同封の振替用紙は、「通信協力費」の送金用です。年会費や親睦会参加費等のものは異なります。なお、柏豊会の会費は、卒業時に入会金として終身会費として頂戴しており、年会費としての徴収はございません。

## 「通信協力費」ご協力

ありがとうございます！  
引き続きご協力をお願いします！

日頃は柏豊会事業にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。柏豊会では会の運営維持・会報の充実などに向け「通信協力費」を受付し、有効活用しています。昨年年度もたくさんのご協力で深く御礼申し上げます。引き続きご協力をお願い致します。

### 【幹事一同】

▼送金は同封の振替用紙をご利用ください。ゆうちょ銀行またはお近くの郵便局からどうぞ。払込書機能付きATMでもご利用いただけます。▼通信欄に卒業回・クラス(または宛名ラベルの印字コード)、依頼人欄の住所・氏名の記入をお忘れなく。▼振替用紙は毎年同封されます(一部の方は除く)。先の分まで送金済みの方は、お手数ですが、破棄してください。▼同期会などでまとめたの入金も可能です。通信欄で詳細をお知らせください。

▼振替用紙以外でお振込みの場合は、左記の口座にてお願い致します。※他銀行からの送金の場合、同封の振替用紙は使用できません。

## 「寄付金」も

ありがとうございます！

「通信協力費」としても皆様より多数ご協力を頂きましたが、「寄付金」ということでも左記の方よりご入金を頂きました。深く御礼申し上げます。

- ・上原 すゞ子様 (高校2回)
- ・尾崎 三重様 (高校2回)
- ・山口 (佐藤) 千鶴子様 (高校3回)
- ・上田 (池沢) 澄子様 (高校8回)
- ・中尾 (岡本) 憲子 (高校8回)
- ・サツカ一部OB会

**送金口座** (ゆうちょ銀行振替口座番号)  
00150-7-403846  
※他銀行から振込みの際は、下記の店名・口座番号をご利用下さい。  
店名:〇一九店 店番:019 預金種目:当座預金  
口座番号:403846

**加入者名** (受取人)  
柏豊会 (都立豊島高校同窓会)  
\*通信協力費として一口1,000円以上(千円単位)  
\*通信協力費は同窓生の任意で頂くもので、年会費や親睦会参加費等とは異なります。  
\*振替金の受領証をもって領収書に代えます。  
\*振替用紙上の個人情報、柏豊会で厳正に管理します。なお、用紙の保管は5年間とし、以後は裁断し破棄いたしますので、ご了承ください。

【物故者】平成28年4月から29年3月まで逝去の連絡を頂戴した旧職員・同窓生を掲載し、故人のご冥福をお祈り致します。(順不同・敬称略)

### 旧職員

- 宇高ちさ
- 斎藤義明
- 中村太一
- 福田正次郎
- 牧山忠次郎
- 吉田善雄

### 同窓生

- 関朋子 (女1回)
- 澤本 (斎藤) ヨシ (女1回)
- 熊野 (富川) 淑子 (女1回)
- 武井 (中嶋) 愛子 (女1回)
- 井上啓子 (女1回)
- 菅原 (菅原) けい子 (女2回)
- 香村 (栄子) 球江 (女2回)
- 佐伯 (石橋) トヨ (女2回)
- 山下 (鈴木) 智恵子 (女3回)
- 高橋 (佐藤) 道江 (女3回)
- 岩館 (町山) 和子 (女3回)
- 梅田 (北嶋) アキ (女3回)
- 西 (丸山) 月子 (女3回)
- 佐瀬 (佐久間) ふみ子 (女3回)
- 市川 (渡辺) 雪江 (女4回)
- 斉藤 (荒井) 澄子 (女4回)
- 山中 (石垣) 不二子 (女4回)
- 石成 (太田) 苗子 (女4回)
- 中村 (平) 睦子 (女4回)
- 馬場 (森田) 良子 (女4回)
- 大倉 (渋谷) 禮子 (女5回)
- 山本 (浅井) すみ子 (女5回)
- 川口知子 (女5回)

老月 (小池) 祐子 (女5回)	田中 (村松) 治子 (女5回)	中沢 (堀内) 和子 (女5回)	藤森 (金子) 玲子 (女6回)	加藤 (原) さゆり (女6回)	田所 (岸) 浪子 (女6回)	河内千里 (女7回)	藤田 (沢木) 幸子 (女7回)	坂田 (小林) 兆子 (女7回)	桐山 (辻) 睦子 (女7回)	高島 (吉田) 幸子 (女7回)	伊藤 (鈴木) 栄子 (女7回)	森本 (森本) 千鶴子 (女7回)	永野 (清水) 和子 (女7回)	戸叶 (塚原) 栄子 (女8回)	武政 (武政) らく (女8回)	高柳 (高柳) 寿子 (女8回)	山木 (板倉) 瑛子 (女8回)	古川公子 (女8回)	渡辺 (山本) 久美 (女8回)	鈴木 (駒形) 富子 (女9回)	井上 (井上) 雅子 (女9回)	松井 (黒柳) 珠枝 (女9回)	川口 (大塚) 玲子 (女9回)	五井野 (星野) 静子 (女9回)	森 (青柳) 慶子 (女9回)	中山 (岸田) アツ子 (女9回)	古田 (古田) 躬美子 (女9回)	安藤昌亮 (女9回)	恩田豊 (女9回)	惣中淳司 (女9回)	西矢 (西矢) 亥津子 (女9回)	坂口誠二 (女9回)	松村嗣男 (女9回)	富澤 (中澤) 靖 (女9回)	井上京子 (女9回)	宇賀神重治 (女9回)	佐藤 (朝倉) 孝恵 (女9回)	大串 (丹野) 敬子 (女9回)	松下 (吉田) 弘 (女9回)	林 (北田) 和子 (女9回)	斎藤紀男 (女9回)	馬場 (大塩) 綾子 (女9回)	安藤 (石原) 美佐子 (女9回)	松沢 (榎山) 美恵子 (女9回)	酒井興正 (女9回)	中山 (脇坂) 郁子 (女9回)	新田 (隅山) 洋子 (女9回)	宮本 (藤野) 尚子 (女9回)	阿部 (森田) 芳子 (女9回)	泉田信也 (女9回)	大野 (田上) 由美子 (女9回)	藤井 (中島) 礼子 (女9回)	内田嘉彦 (女9回)	宮本浩章 (女9回)	溝端春樹 (女9回)	梶 (腰塚) 洋子 (女9回)	辻 (高橋) 洋子 (女9回)	大島 (高橋) 雅子 (女9回)	西嶋徹 (女9回)	小柳哲四郎 (女9回)	熊谷清彦 (女9回)	加島 (内海) 真理子 (女9回)	塩田勇 (女9回)	松本 (水倉) 千代子 (女9回)	李讚輝 (女9回)	恩田恵子 (女9回)	上原高廣 (女9回)	足立 (新井) 真弓 (女9回)	二瓶 (木立) 富士子 (女9回)	河辺 (岩本) 澄子 (女9回)	小栗真樹 (女9回)
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------------	------------	-----------	------------	-------------------	------------	------------	-----------------	------------	-------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------	------------------	-------------------	-------------------	------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------	-------------------	------------------	------------	------------	------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------	-------------	------------	-------------------	-----------	-------------------	-----------	------------	------------	------------------	-------------------	------------------	------------

【会より】遅れて連絡を頂戴することもあり、過年度に逝去された方もおりますのでご了承ください。



「至誠」

山口(佐藤) 千鶴子  
(高校3回 母校元教諭)



中央の白いジャケットの方が山口さん 豊島高校元教諭の皆さんとの集いにて

小学6年生まで住んだ池袋の長屋は戦火で焼失。以後、豊島高校卒業まで他家の2階の6畳一間で母親と暮らす私の生きがいは、みかん箱を机にして勉強することだけ。時折、食料買出しに遠くまで連れ出され、酔った母親に「学校なんかやめて働け！」と怒鳴られては絶望したが、教室の私の机に本を差し入れてくださった先生。ご自宅でレコードを聞かせてくださった先生。折々の先生方の恩情に救われた。高二の時には、方々の男子高校の動きを参考に、自校でも生徒が主体的に活動する生徒会発足を願ひ、有志が規約を調査して作成。生徒総会で会長選出を行うに至った。高三の私は意を決して立候補、初代会長に選ばれた。中央委員会には毎回、高1代表の宝田明さんが出席されていた。

立高校の教員になりたい」と思い、野間忠雄先生に相談すると「教員を一生続けるなら、最初は公立中学で様々な生徒に対応できる基礎を勉強しなさい。それに都立高校の採用には学閥もかなり関係する。しかも女子の採用は敬遠されがち。まだ中学の方が可能性がある。」と助言された。恩師の言葉通り、私立女子大出の私はやつと公立中学校の教員になれた。都内屈指の高学力の中学で教科指導に熱中していると、校長先生が突然「学業不振の生徒の指導はどうなっているか？」と尋ねた。早速、該当する生徒に「学習適応検査」等を行い、本人や保護者と面談しても有効な指導方法が分からない。校長先生の勧めで区教委主催の教育相談研修会に初めて参加。2年後、学校の紀要に「学業不振生徒の要因と対策」という文を書いた。

36歳で恩師の帰れコールで豊島高校に異動。内規に則して斟酌なく生徒を処分する常況に納得できないうちに「義務教育じゃないよ」と反論される。改めて都立教育研究所の高校教員対象の教育相談研修会や他の様々な研究会に参加。「教師としてどうあるべきか」と自問し、学んだことを繰り返し実践。良い結果が得られるにつれて認めてくれる同僚も増え、10年後に「教育相談委員会」が内規に記載され、教育相談室もできた。44歳で全国学校教育相談研究会の役員に推され、毎月夕方から幼小中高の役員と共に学んだ。海外教育事情視察にも13回参加。目から鱗の思いもした。

教職に生きがいを感じている時、突然校長先生が「都立高校には女性管理職がないから、貴女に受験させるようにと言われた」と言う。お断りすると校長先生は困惑顔。また自校に8人しかいない女性教諭の勧めもあつて承諾した。何回か数人の同僚と校長室で論文の練習をしたが、いつも合格する教員は校長先生と同じ大学出身。三回不合格の私は時の校長会長に理由を尋ねると、「校長先生が貴女を推薦していない」とのこと。以後受験をやめた。新しく前校長と同窓の校長先生が着任。再び私に受験を勧め、「本気で推薦する」と言われ、本当に合格。都立高校初の女性教頭、引き続き校長三人の一人になった。

柏豊62号  
2017年(平成29年)5月1日発行  
© 柏豊会 2017 / 本誌は非売品です  
【注意】掲載情報の二次利用及び本誌の転載・複製等を厳禁します  
制作・著作 柏豊会 (第十高女・豊島高校同窓会)  
〒171-0044 東京都豊島区千早4-9-21 豊島高校内  
会長 鈴木優子  
TEL 090-4228-8758 FAX 03-3972-4037  
印刷 同窓会事務局  
《会報編集委員》  
尾崎 三 重 野 木 淳 子  
木村 太 一 綿 貫 昌 子  
小泉 恭 昭 森 平 淳 子  
豊島 宏 美 大 正 淳 子  
小川 寛 赤 坂 保 明

編集後記  
◆昨年のこの欄でも柏豊会の創設者とも言える先輩の訃報をお伝えしましたが、今回も残念ながら訃報が。しかも現役の役員の方です。高校5回の恩田豊さん。私が柏豊会に携わるようになってからずっとご意見番的な存在で、会を見守って下さった。しかも会社は違えど私と同じ鉄道マンであったこの事で、もう少し早く先輩からお話をお伺いしておけばよかったですと深く後悔がご冥福をお祈り致します。  
◆「ワイーンオペレッタコンクール」入選・入賞者コンサート」に行ってきた。高校6回の幹事でお世話になつてきた狩野哲光さんが出場すると聞いたからだ。張りのある歌声、音量、そして歌詞は外国語というのに驚いた。先輩曰く「人前で歌う為には、呼吸器の機能を鍛え、外国語の歌詞を憶えることは脳トレになり、外出する機会も増えて足が鍛えられ、老人の心身の健康増進に役立つと確信しております。」との由。いつまでもお元気です。